

はがの

12月に生徒・保護者の皆様にご協力いただきました「学校づくりアンケート」の集計結果をお知らせいたします。

アンケート項目の表現は若干異なりますが、左が生徒、右が保護者と対比できるようになっています。また、各項目の下には、それぞれの結果に対する考察やコメントなどを掲載いたしました。

なお、保護者の回収率は89.0%で、グラフの数値の単位は「人」です。

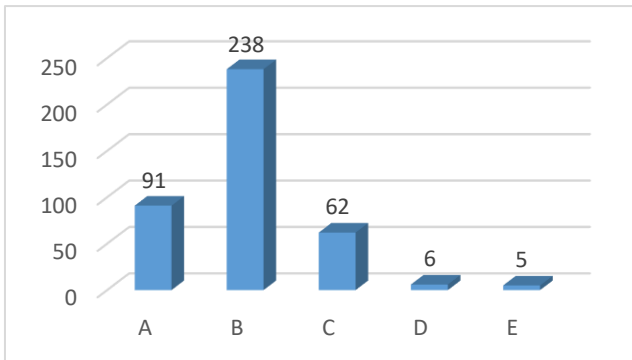
(※生徒は、タブレットPCで回答させた結果、複数回答してしまった生徒があり、生徒合計数が402人になっております。)

- A よくあてはまる
- B ほぼあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E よくわからない

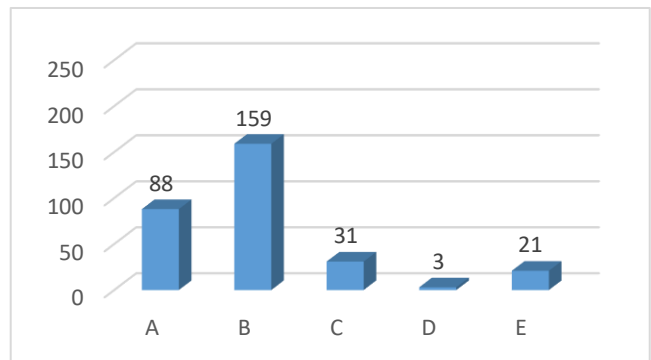
プロジェクト『知』について

自ら学ぶ生徒(学校教育目標)の育成

Q1:私は授業の内容がよく分かる。

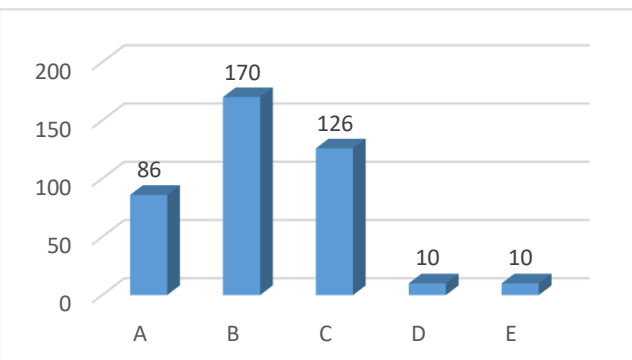


Q1:学校は子どもの学力の向上を図っている。

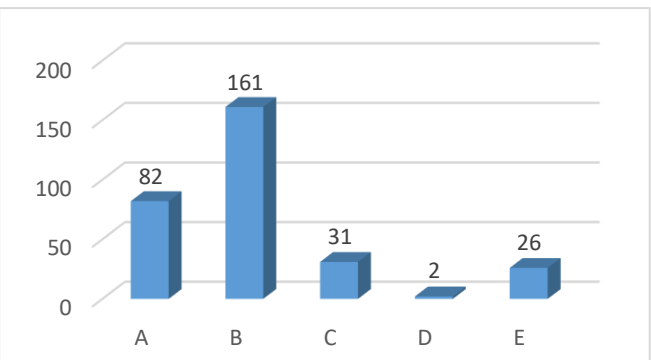


生徒の回答のA・Bを合わせた肯定的な意見は、81.8%(昨年85.4%)である。昨年度より下降した。また、保護者回答では、肯定的な意見が81.8%(昨年79.6%)で若干上昇した。今年度も、「学び合い」の研究を継続し、研究授業や授業研究会を実施した。今後も「協働的な学び」「個別最適な学び」につながる授業改善を進めるために、指導主事の指導を仰ぎながら、教科部会での情報共有や指導法の意見交換などで指導力を向上させ、生徒の学力向上を推進していきたい。

Q2:私は自分の考えを伝えることができる。

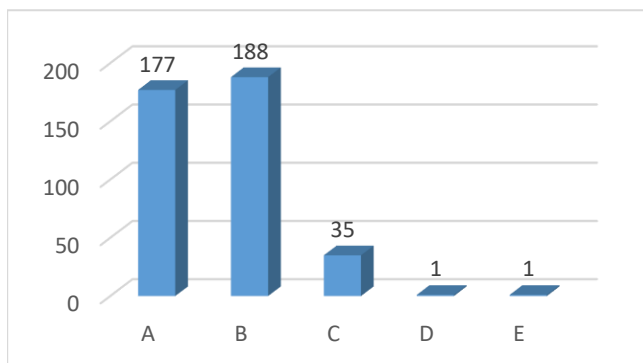


Q2:学校は子どもの発表力の向上を図っている。

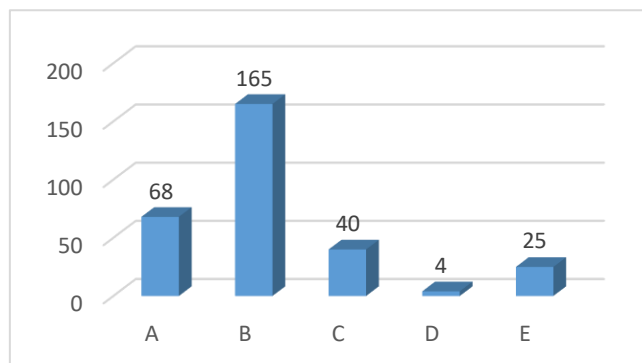


肯定的な意見は、生徒は63.7%(昨年41.7%)、保護者は80.5%(昨年72.4%)である。発表について、ここ数年、表現力の育成を課題として取り組んできた。グループ活動を取り入れたり、意見の発表の場を設けたりなど授業展開を工夫し、意見を言いやすい雰囲気作りに努めた結果、成果が現れてきている。今後も継続して、生徒が表現力やコミュニケーション能力を高められる機会を増やしていきたい。

Q3: 私は授業に一生懸命に取り組んでいる。

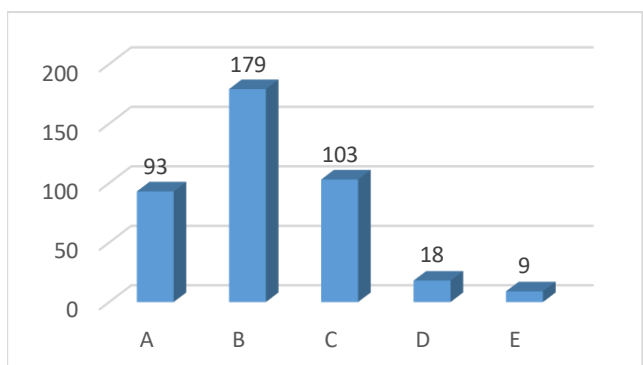


Q3: 学校は子どもの学習意欲の向上を図っている。

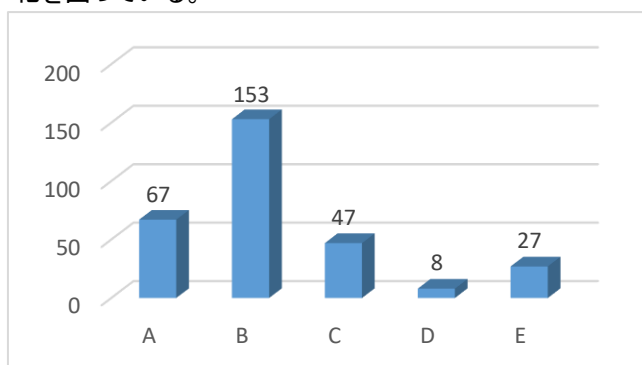


生徒の肯定的な意見が90.8%(昨年91.3%)、保護者は77.2%(昨年71.6%)である。分かりやすい授業や分かって楽しい授業の展開を心がけ、生徒のつぶやきからめあてを作り、授業の終わりに振り返りをし、学習内容を確認している。今後も生徒とともによりよい授業を展開するため授業改善を継続していきたい。

Q4: 私は家庭学習の仕方・習慣が身に付いている。

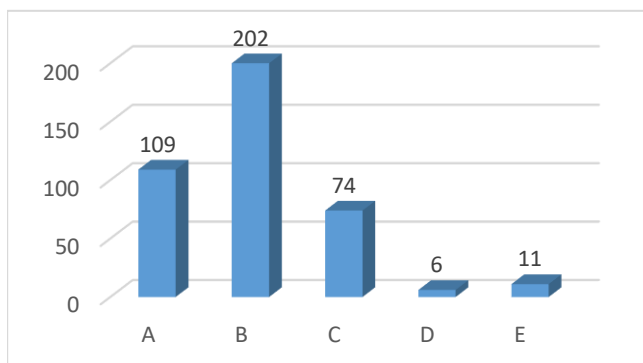


Q4: 学校は子どもの家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図っている。

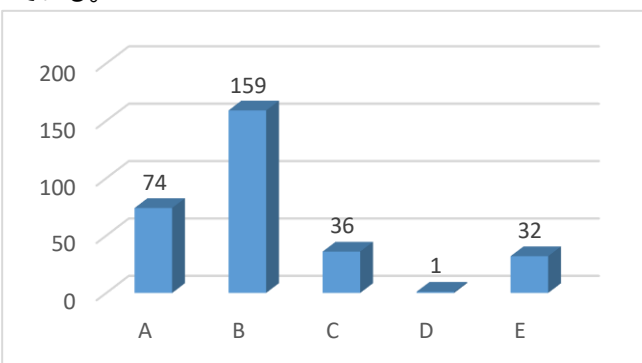


生徒の67.7%(昨年60.8%)、保護者の72.8%(昨年68.1%)が肯定的な意見となっている。どちらも昨年度より上がっている。「学びのすすめ」を活用し、クラス担任が時間の使い方や繰り返し学習することの大切さを伝え、友人の家庭学習帳のよい例を紹介するなど粘り強く指導している。また、教科担任から学習のポイントや学習方法について繰り返し指導してきた。今後は、タブレットPCの有効活用を図り、個に応じた学習方法を学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣化を図っていきたい。

Q5: 私は授業が楽しく、わかりやすいと感じている。



Q5: 学校は、子どもに楽しく、わかりやすい授業を提供している。



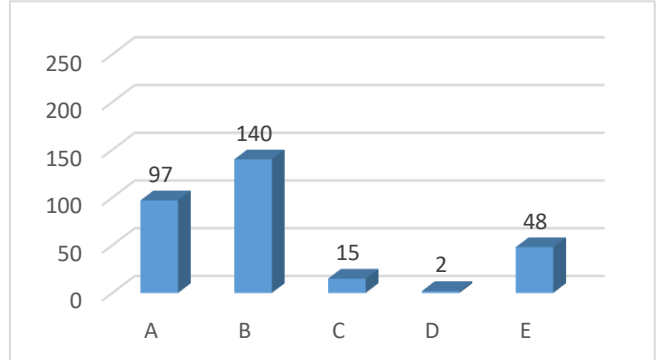
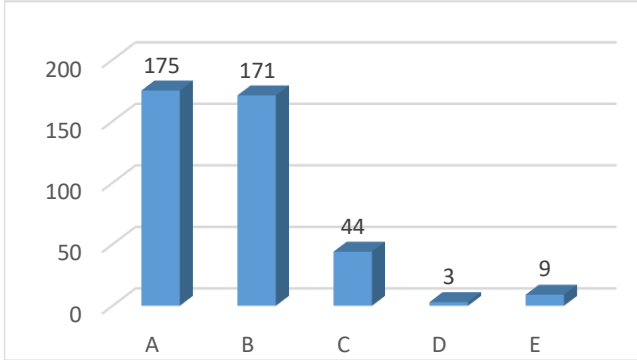
生徒からは77.4%(昨年77.6%)、保護者からは77.2%(昨年71.8%)の肯定的な意見となった。「学び合い」の研究を通して、教科部会で、生徒同士が意見交換をしたり発表したりする時間の設定、めあての設定、振り返りなど授業の進め方を工夫・研究してきた。また、ICT機器も積極的に活用してきた。今後は、「個別最適な学び」の実践に向け授業展開の工夫・改善に努め、生徒が主体的に取り組める授業を展開し、生徒の学力向上につなげたいと考えている。

プロジェクト『徳』について

心豊かな生徒(学校教育目標)の育成

Q6: 私は道徳の時間に、テーマについて一生懸命に考えている。

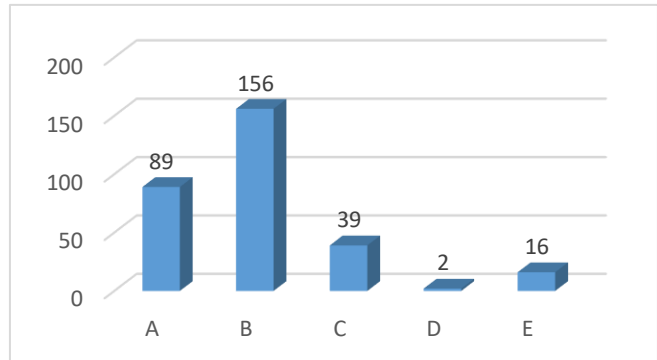
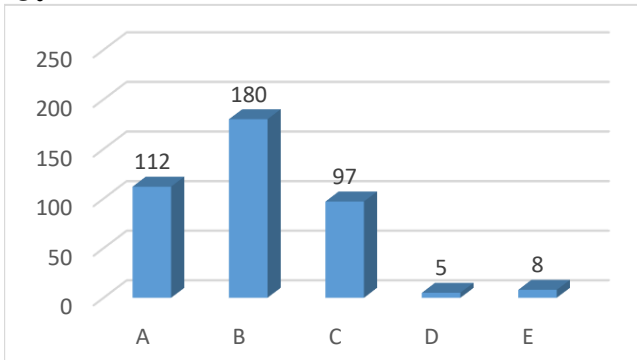
Q6: 学校は様々なテーマに沿った道徳の授業を展開している。



生徒の肯定的な意見が86.1%(昨年87.1%)という割合で、昨年度より1%低い値となった。担任同士が情報交換し道徳の授業改善に努めた。今後、更にテーマを捉え、考える場面を設定していきたい。毎月、学年だよりに道徳で取り扱うテーマや題材名などを掲載したり、道徳通信を10月に発行したりしたが、まだ情報発信が十分とはいえないので、更に発信できるようにしたい。

Q7: 私は道徳の時間に考えたことを実践しようとしている。

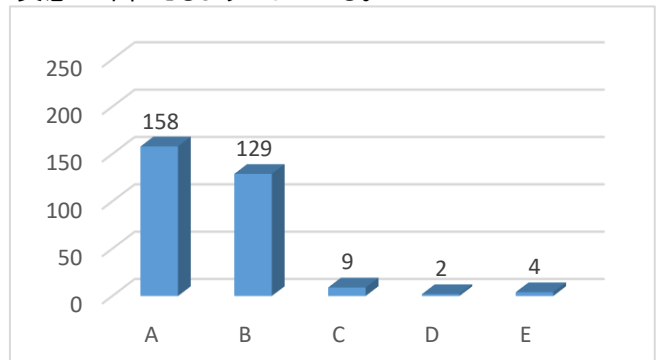
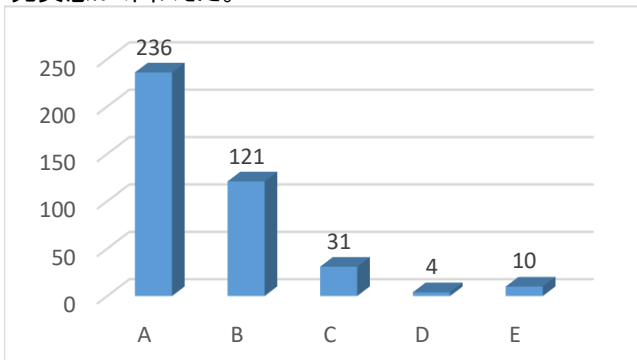
Q7: 子どもは、進んでよいことをしようとする心が育っている。



肯定的な意見は、生徒が72.6%(昨年63.6%)、保護者が81.1%(昨年86.2%)であった。道徳教育の目標は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。そこで、家庭と学校とで話題を共有し教育効果を高めようと考え、道徳のテーマや題材を学年だよりに掲載し、道徳通信を発行して保護者会での啓発を行った。道徳の授業を日常につなげるように、日頃から道徳的な話題を生徒に提供し、道徳的実践力と態度を育てていきたい。生徒が自らの成長を実感できるよう工夫を継続したい。

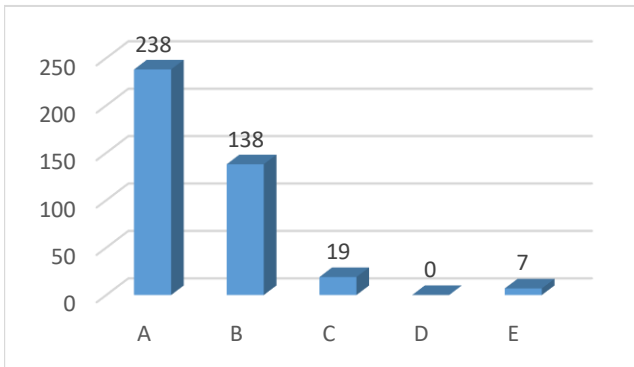
Q8: 私は学校行事に積極的に取り組み、感動を共にし、充実感が味わえた。

Q8: 学校は学校行事を通して、子どもが感動を共有し、充実感が味わえるようにしている。

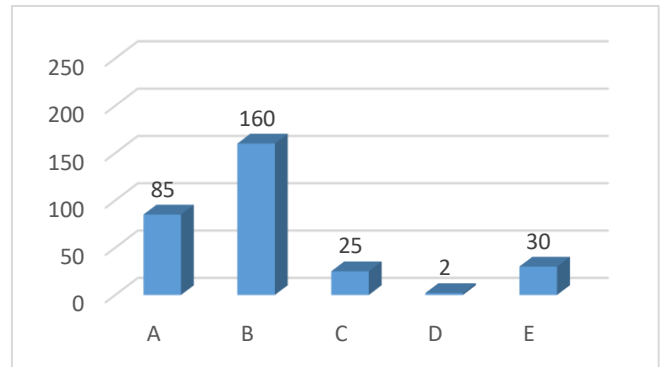


生徒は88.8%(88.5%)、保護者は95.0%(93.1%)が積極的に取り組み、充実感を味わっていると回答している。体育祭は半日、文化発表会は1日で実施し、クラスの団結や達成する喜びなどを感じられるよう工夫を重ねたことで、生徒は学校行事に対し意欲的に参加できた。また、体育祭、文化発表会ともに保護者観覧の制限をなくし、自由に観覧をすることができ、保護者から好評を得ることができた。宿泊の行事も保護者のご理解・ご協力のもと、通常通り2泊3日で実施できた。

Q9: 私は清掃活動に一生懸命取り組んでいる。



Q9: 子どもは清掃活動に一生懸命取り組んでいる。

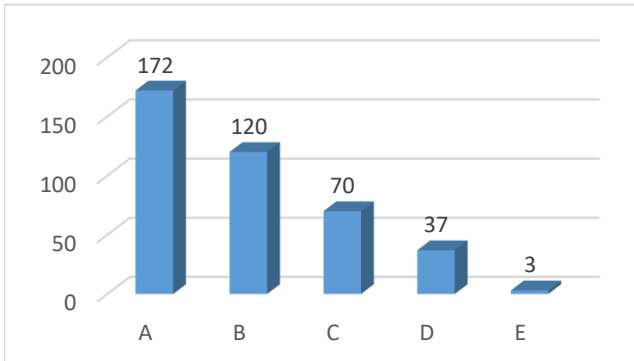


生徒の93.5%(昨年93.3%)が清掃活動に一生懸命取り組んでいると答えている。保護者からは81.1%(昨年60.3%)という肯定回答を得た。教師は生徒と共に清掃活動に取り組み、生徒指標の一つである「場を清め」の実践を積極的に図り、「身支度を整え、本気の15分、無駄話をしない」の『3つのルール』を定着させながら勤労意欲や愛校心を高めている。また、お掃除応援隊の指導ももらい、清掃の仕方や意識の指導もしてもらっている。

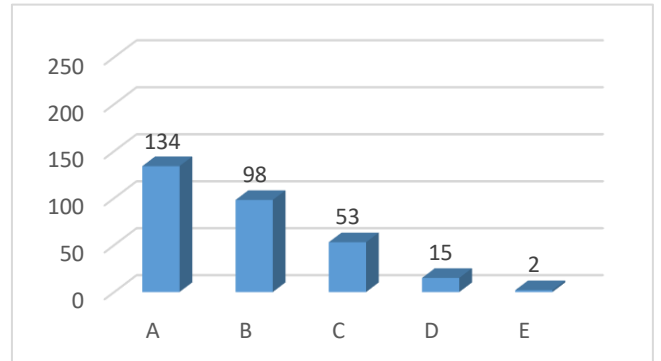
プロジェクト『体』について

たくましい生徒(学校教育目標)の育成

Q10: 私は「早寝・早起き」(23時就寝、6時30分前起床)を実践している。(習いごとのない日)

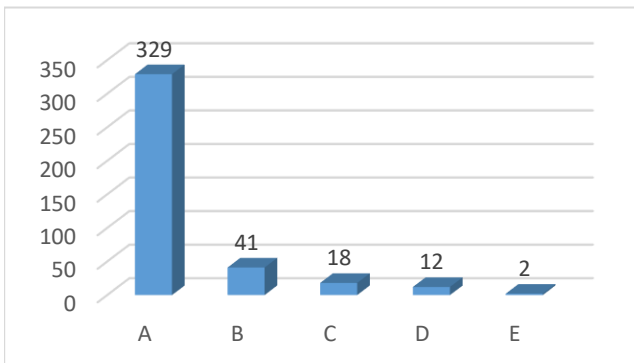


Q10: 子どもは「早寝・早起き」(23時就寝、6時30分前起床)を実践している。(習いごとのない日)

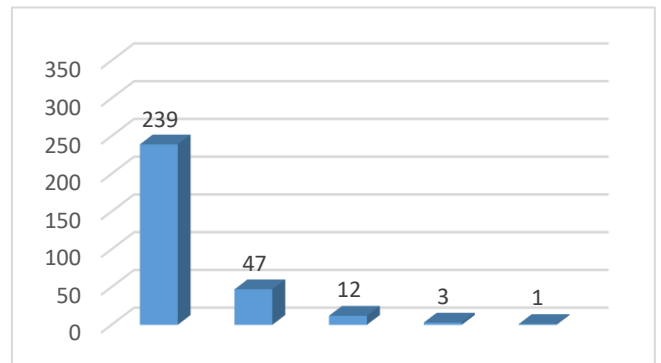


生徒は72.6%(昨年61.6%)、保護者は76.8%(昨年62.4%)が概ねできているとの回答である。今年度は、昨年度の評価を受け、項目の「23時前就寝」の前をとり、「習いごとのない日」との文言を付け足した。その結果、評価は昨年度よりも向上した。中学生の発達段階を考えると体と記憶の関係から8~9時間の睡眠が必要である。体の発達、脳の発達それぞれに早寝早起きが重要である。寝る前のICT機器の利用を控えて質の高い睡眠となるよう学校と家庭が連携し、規則正しい生活習慣を確立できるよう働きかけていきたい。

Q11: 私は朝食を毎日食べている。



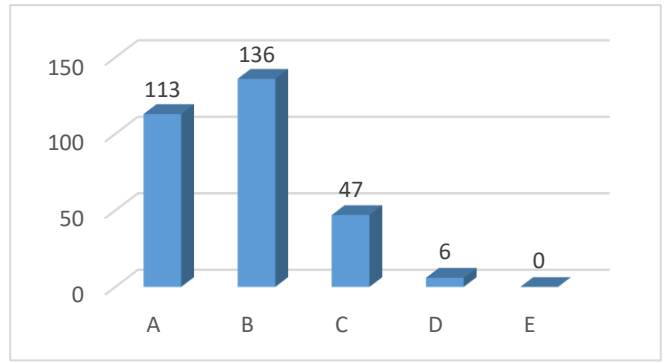
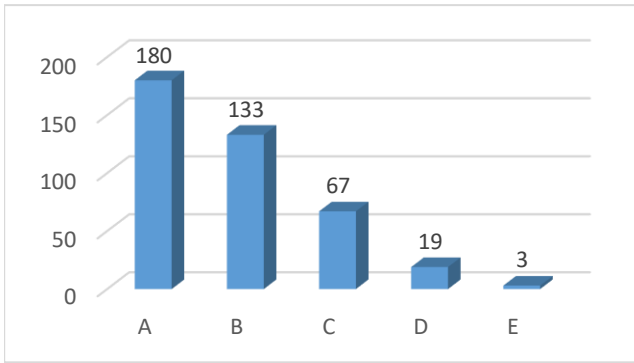
Q11: 子どもは朝食を毎日食べている。



肯定的な意見が、生徒92.0%(昨年93.3%)、保護者94.7%(昨年92.5%)と高い数値になっている。あまり食べない、全く食べない生徒が30名おり、昨年度よりも増加している。ごはんなどの主食には脳のエネルギー源になるブドウ糖が多く含まれているので、朝食を摂ることにより脳と身体をしっかりと目覚めさせることができる。また、勉強等に集中できるようにもなるとも言われている。今後も、朝食を摂ることの大切さを生徒に伝え、給食だより保健だよりでも保護者へ啓発し、朝食摂取率100%を目指したい。

Q12: 私は好き嫌いなく食べることができる。

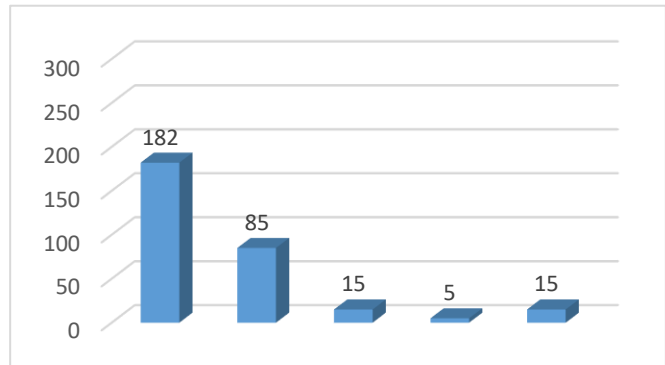
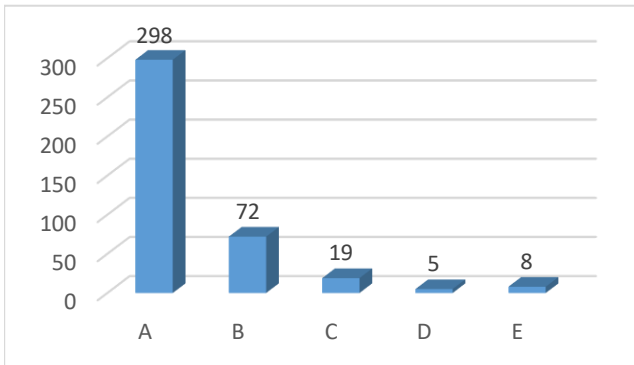
12: 子どもは主食、主菜、副菜をまじえて食べるなど、望ましい食習慣を身に付けている。



生徒が77.9%(昨年74.2%)、保護者が82.5%(昨年78.2%)、肯定的な回答であった。86名(21%)の生徒が、嫌いなものは食べていない傾向にある。しかし、評価の数値は昨年よりも向上している。今後も嫌いな物でも少しは食べるといったことを、各家庭と連携して進めていければと考える。また、給食日より等で生徒や保護者への啓発を続けていきたい。

Q13: 私は部活動(文化系も含む)に一生懸命取り組んでいる(取り組めた)。

Q13: 学校は部活動の指導を一生懸命に取り組んでいる。



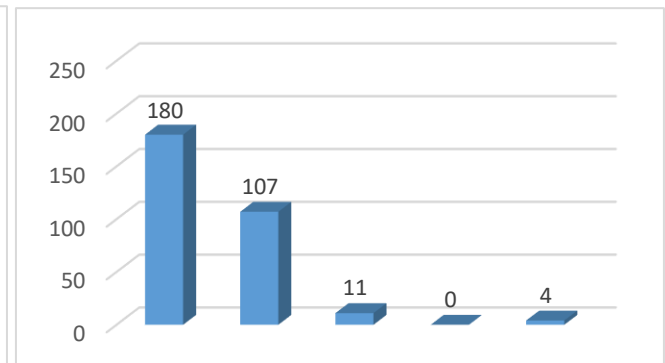
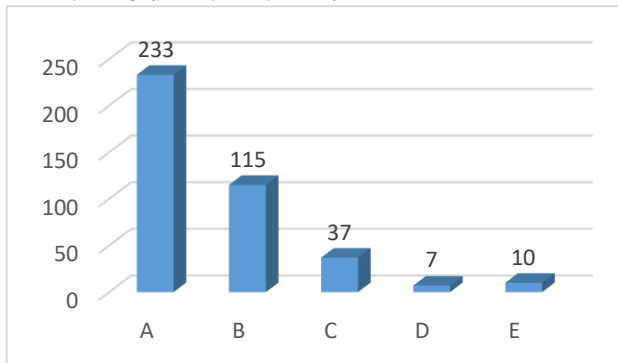
生徒は92.0%(昨年91.9%)、保護者は88.4%(昨年87.9%)が一生懸命に取り組んでいると回答している。本校の部活動は、成績だけを求めるのではなく、取り組む姿勢やあいさつなどの礼儀についても指導している。このことは、「芳賀中プライド」と称され、今年も教職員研修等で確認をした。評価の値は昨年度ほぼ同様である。今年度も、多くの部活動で優秀な結果を残すことができた。今後も保護者の皆様の物心両面に渡る支えの中、顧問と生徒が工夫しながら活動し、生徒の成長を促していきたい。

プロジェクト『生き方』について

ふるさとを愛する生徒(学校教育目標)の育成

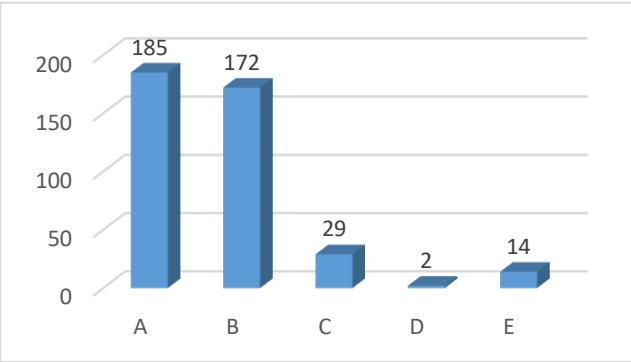
Q14: 私は学校生活が楽しい。

Q14: 子どもを学校に安心して預けられる。

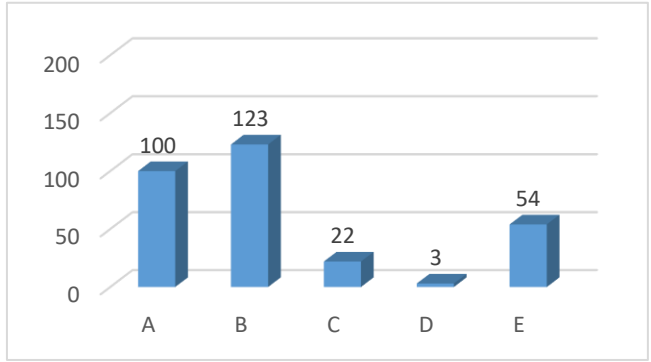


生徒は、86.6%(昨年84.3%)が学校が楽しいと回答している。また、保護者からは、95.0%(昨年92.8%)の高い割合で、安心して預けることができるという回答を得た。昨年度とほぼ同人数の44名の生徒が、否定的な回答をしていることを重要な課題と捉えている。教師は、全ての生徒にとって、居がいのある、楽しいといえる学校・学級づくりに取り組んでいかなければならないと考えている。そうすることが生徒の学力や体力の向上につながり、保護者の皆様からの信頼を得ることにもつながる。今後一層努力していく必要がある。

Q15:私はみんなが安心して気持ちよく生活できるよう行動している。

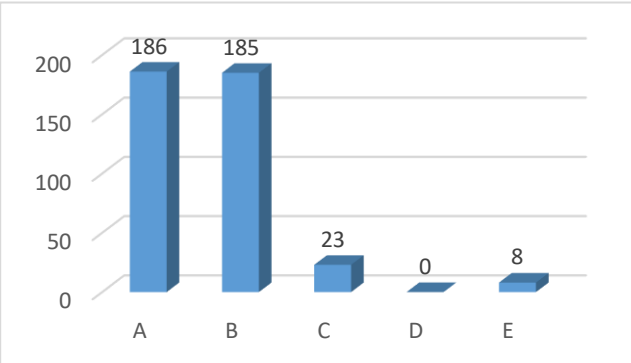


Q15:学校はいじめが起こらないように、また、起こったときにはすぐ解決するように取り組んでいる。

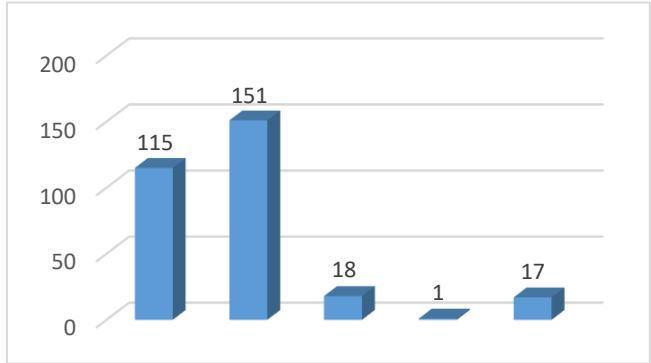


生徒の88.8%(昨年86.0%)、保護者の73.8%(昨年73.0%)が肯定的な回答であった。本校のホームページには、いじめ防止基本方針が掲載しており、「いじめをおこなさい」「いじめは絶対に許さない」という強い姿勢で取り組んでいる。「生徒居るところに教師あり」を実践し、生徒指導委員会や学年主任会を毎週開催し、生徒の情報を共有している。生徒には、いじめアンケートや教育相談を毎学期実施している。また、学習とも関連付け、「学業指導」を通して、いじめのない学級作りを行っている。今後も、様々な工夫を凝らしながら居がいのある学級・学年・学校づくりに取り組みたい。

Q16:私は「時刻を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣が身に付いている。

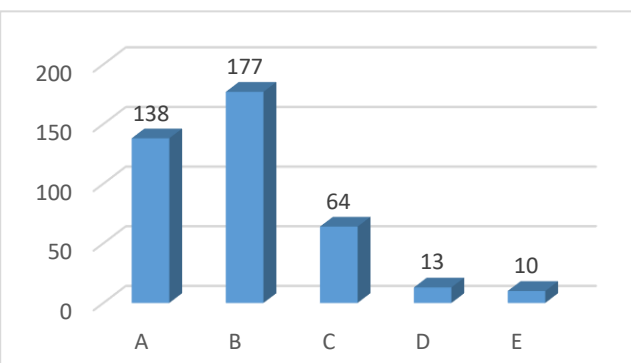


Q16:学校は「時刻を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣の定着を図っている。

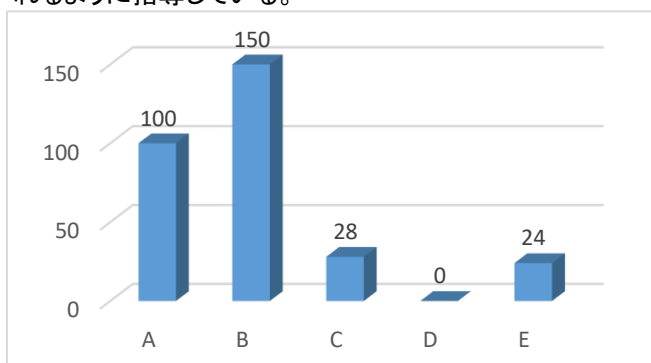


生徒の92.3%(昨年85.4%)、保護者の88.1%(89.6%)から肯定的な回答を得た。生徒の方は、昨年度よりも高い評価となっており、概ね守って生活できていると考える。また、あいさつに関しては、個人により課題が残る結果となっている。整理整頓についても、継続的に指導が必要だと考えている。今後も、地域や家庭と連携し、芳賀中の伝統としていけるように改善していきたい。

Q17:私は地域行事に参加したり、地域の方にあいさつしたり、地域や他の人のためになる行動がとれている。

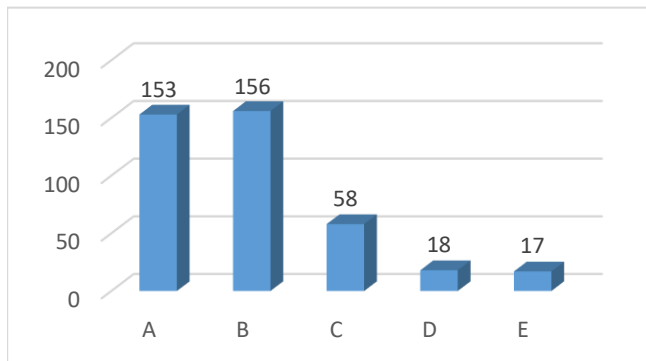


Q17:学校は子どもが地域行事に参加したり、地域の方にあいさつをしたり、地域や他の人のためになる行動がとれるように指導している。

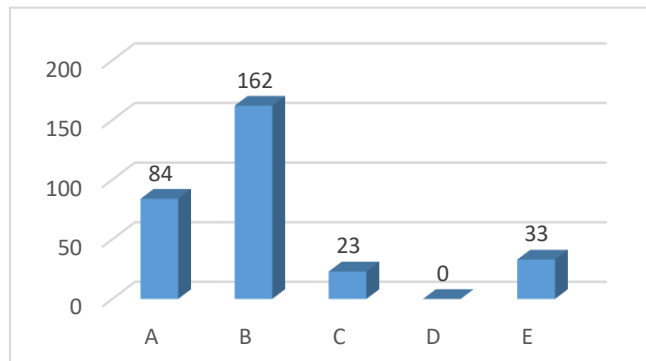


生徒の78.4%(昨年69.5%)、保護者の82.8%(昨年78.2%)が肯定的な回答であった。学校支援ボランティアの活動については、少しずつ協力を得ることができ実践できるようになった。また、アート部や委員会での活動で、校外へ出る機会も昨年度より増えてきている。しかし、まだ生徒が進んで計画をし、進んで地域に出て行って活動するまでには至っていないので、今後もジュニアボランティア活動等の参加の意義や重要性を知らせ、募集や参加しやすい体制を検討し、地域と共に生徒を育てていきたいと考えている。

Q18:私は夢や目標をもち、その達成のためにがんばっている。



Q18:学校は子どもが夢や目標をもち、その達成のためにがんばるように指導している。



生徒は76.9%(昨年59.9%)、保護者は81.5%(昨年74.1%)の肯定的な意見であった。今年度は、「目標」という文言を付け加え、生徒の評価も17ポイント上がっている。マイ・チャレンジや立志の船、幼稚園訪問も、例年同様に実施することができた。進学などの進路指導だけではなく、キャリア教育を充実し、自分の将来について系統立てて、考えさせたい。今後も、将来について考え、夢や目標に向かって一生懸命に努力できるように支援を続けていきたい。また、保護者や地域との連携も深め、教育効果を高めていきたい。

【校長より】

今年度も保護者の皆様には、学校づくりアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行し、全ての学校行事を予定どおりに実施することができました。コロナ前とは変更して実施したものもありましたが、生徒が主体的に関わった結果、お互いの絆を深め、充実感を味わうことができたように思います。学習面では、令和3年度から研究している「学び合い」の学習が定着しつつあります。教育研究所所長や大学関係者、指導主事を招へいして学力向上研修会を実施し、授業改善に取り組んできました。今後、ICTをさらに活用して「協働的な学び」と「個別最適な学び」を一体的に展開することにより、生徒が自立した学習者になるよう授業改善を進めて参ります。

学校づくりアンケートは、生徒及び保護者の皆様、教職員や学校運営協議会の皆様に実施し、改善点を全教職員で話し合い、次年度の教育方針や具体策を作成する道しるべとしております。すべての結果や意見を真摯に受け止め、次年度に生かしていきたいと考えております。

保護者の皆様には、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

